

全体



草津温泉の新しい観光スポット「湯路広場」。中央に石畳を敷いた棚田風のイベント広場を擁し、3方を木回廊が囲う。右奥に見えるのがトイレ棟。

回廊



宿泊客が浴衣姿でそぞろ歩くことができる回廊。通路のピンコロ石の下には、冬の融雪のため温泉が通っている。

男性トイレ 小便器コーナー



冬場でも快適に使用できるように、小便器コーナーにもパネルヒーターを設置している。

多機能トイレ



車いす使用者のほか小さなお子様連れにも配慮して、ベビーシートを備えた多機能トイレ。

トイレ棟 外観



回廊の奥に見えるのが、湯路広場のランドマークとなるトイレ棟。木回廊とトイレ棟の屋根は、湯路広場のコンセプトである「昭和レトロ」を具現化した板葺き屋根となっている。

トイレ 入口



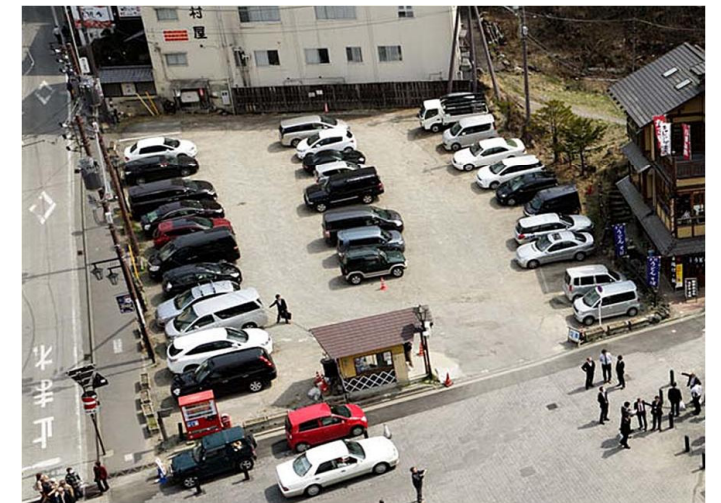
吹き抜けの天井から自然光が射し込む開放感たっぷりの入口通路。通路には待ち合わせ用のベンチを設置。24時間利用できる施設ということもあり、防犯カメラを設置している。入口から見る奥から入口を見る

トイレ図面



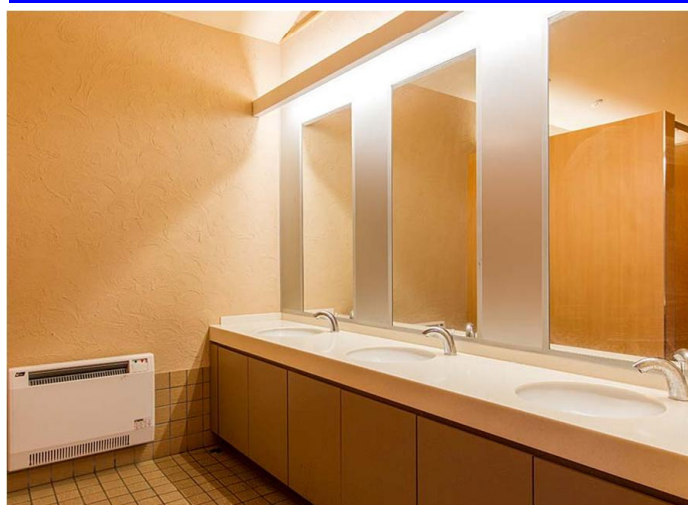
入口を入って右側に女性トイレ、左側に多機能トイレと男性トイレが配置されている。

湯路広場 整備前



草津温泉のシンボルである、湯畑広場前の駐車場ということもあり、車の往来や駐車場の大渋滞により、温泉情緒や風情を失いかけていた。

女性トイレ 洗面コーナー



暖色系の間接照明がホテルのような落ち着いた雰囲気を出している。水栓金具は、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を設置。冬でも快適に使用できるように、パネルヒーターを設置している。

女性トイレ 大便器コーナー



暖色系の内装材を使用した温かみを感じさせるトイレ空間。大便器はすべてウォシュレット一体形便器を採用している。

建築概要

名称	草津温泉 湯路広場
所在地	群馬県吾妻郡草津町大字草津107番地1
施主	群馬県草津町
設計	北山孝二郎+K計画事務所
施工	佐田建設株式会社
竣工年月	2014年6月

水まわりの特長

<施設の概要>

湯路広場は、年間300万人の観光客が訪れる草津温泉のシンボルでもある「湯畑」のすぐ隣りにある。100年先を見据えたまちづくりを目指した草津町の「湯源湯路街基本構想」のもと、以前駐車場だった場所の再整備計画に着手。2013年に「御座之湯」、2014年に「湯路広場」、2015年に「新生熱乃湯」が完成した。湯路広場はその中核となる施設であり、石畳を敷いた棚田風のイベント広場を中央に配し、そのまわりを草津温泉の昭和初期の街並みをイメージした板葺き屋根を持つ木回廊が囲み、右奥にトイレ棟がある。イベント広場では、キャンドルイベントなどが開催され、宿泊客が浴衣姿で散歩したり休憩する憩いの場となっている。

<トイレの特長>

トイレ入口の通路は、開放感のある吹き抜けスペースで、天井から明るい自然光が射し込む。トイレ内は、暖色系の間接照明を採用し、大便器はすべてウォシュレット一体形便器を採用。冬でも快適に使用できるようにパネルヒーターを設置している。トイレの入口前に立った観光客からは、感嘆の声が上がっており、日本一の温泉観光地にふさわしいトイレ棟が完成した。日本トイレ大賞において、国土交通大臣賞を受賞している。